

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ぽっぴ		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 13日 ～ R7年 2月 21日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35 家庭	(回答者数) 16 家庭
○従業者評価実施期間	R7年 3月 1日 ～ R7年 3月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	35 家庭	(回答者数) 16 家庭
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	サービス(支援)の選択肢があること ・放課後デイサービス、居宅支援、同行支援、移動支援、共同生活援助、短期入所、地域福祉推進事業など幅広い支援を提供できることで、利用者にとって柔軟な選択肢を提供できます。	各支援を個々のニーズに合わせて柔軟に組み合わせることで、利用者に最適な支援を提供しています。また、各サービス間での連携を強化し、シームレスな支援ができるように意識しています。利用者が成長する過程において必要に応じて支援内容を変更しています。	利用者が一貫した支援を受け円滑に次のステージに進めるよう支援の連携を深めます。
2	自己選択しやすい自由で楽しい環境 ・子ども達が自分の意思で選択し、楽しむことができる場が整っており、職員も同じ思いで支援して行きます。自己決定を促進する環境が整っています。	子どもたちが自由に選択できる活動の幅を広げるために、遊びの中で自分の意見を表現できる場を作っています。自己選択ができるようサポートすることで、自立心を育むことを意識しています。また、楽しさを感じられる環境づくりを最優先に考えています。	子どもたちが自分の意思で遊び、主体的に活動できる環境をさらに強化し、自己決定力を育てていきます。
3	豊富な資格者の存在 ・専門的な知識(保育士・幼稚園教諭・介護福祉士・社会福祉士)と経験(多種・他社経験者)を持つ職員が多く在籍しており、質の高い支援が提供できます。	資格者が多いため、それぞれの専門性を生かした支援を行い、定期的に勉強会や研修を実施して最新の知識を学び続けています。スタッフ間での情報共有を大切に、個別支援の質を高めています。	高い専門性を持つスタッフ同士互いに学びあい、全体のサービスの質向上を目指します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員不足	一部の時間帯や特定のサービス提供時に人手が必要だと感じる時があります。特にお迎え時のドライバーやサポート支援が必要な子ども達への支援など。	・スタッフの柔軟なシフト管理 ・職員のスキルアップ・研修を行い、業務を効率化する
2	施設の設備について	R6年度10月から新施設に引っ越したため、まだ十分に活用されていない部分がある。利用者やスタッフが新しい環境に慣れておらずスムーズに運営する為の調整を行っている状況です。	・スペースを効率的に使うため利用者の活動に合わせてフレキシブルに対応する ・施設設備の活用方法の共有と研修を行い、スタッフ間で情報共有をしていく
3	利用者の増加への対応について	需要の増加に対して適切な人数のスタッフやリソースが不足している場合、支援の質が低下する恐れがあります。サービスを維持しながら対応できる体制を整える必要があると感じています。	・定員調整と予約制の導入 ・多様なプログラムを導入 ・利用者のフィードバックを積極的に活用